



利根中央病院だより

きらめき



第75号
2025年 春号

発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

循環器センターの紹介

近年、「心不全パンデミック」と呼ばれるほど心不全患者が急増しており、特に高齢化が進む利根沼田地域においては、心不全を中心とした循環器診療の重要性が高まっています。そこで当院では、地域の皆様に安心して診療を受けていただけるよう、「循環器センター」を設立いたしました。患者様一人ひとりに寄り添い、地域全体で循環器疾患を適切に管理できる体制を構築することを目指しています。

当センターには循環器専門医をはじめ、心臓リハビリテーション指導士や心不全療養指導士、検査技師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなどの各専門職が在籍し、循環器疾患を抱える患者様の多種多様な問題に対応しています。



循環器センター

センター長 こんどう 近藤 まこと 誠



当センターでは、地域に根ざした循環器診療の拠点として、以下のような取り組みを進めていく予定です。

- ・心不全早期発見プロジェクトの推進
- ・心不全の診断と原因検索
- ・心不全に対する薬物治療の最適化と管理
- ・必要に応じた高度医療機関への紹介
- ・がん治療関連心機能障害への対応
- ・入院・外来での心臓リハビリテーションの実施
- ・心不全緩和医療への対応
- ・紹介しやすい診療体制の整備
- ・地域医療機関との連携強化

利根沼田地域における循環器診療の充実に向け、地域の皆様とともに歩んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新任医師の紹介



循環器センター
きくしま あさひ
菊島 旭

初期研修から1年経過し戻ってきました、菊島旭と申します。憧れの利根中央病院に専攻医として戻ることができ、とても嬉しいです。真面目に誠意を持って研鑽させていただきます、よろしくお願いいたします。



外科
ねぎし まこと
根岸 諒

今年度より外科レジデントとして配属されました。しばしば気胸体型と揶揄されますが、細身ながらも手技は太く、元気に頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします！



総合診療科
あんど こうじ
安藤 昂司

埼玉医科大学総合医療センターより1年間勉強しに参りました、医師4年目、総合診療科所属の安藤と申します。利根沼田地域の医療に貢献できるよう精一杯精進いたします。よろしくお願いいたします。



総合診療科
たなか こうすけ
田中 孝典

今年度より利根中央病院の総合診療科で勤務させていただく事になりました。医療を通じて、地域に住まう皆様が安心安全な生活を送るためのサポートをさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



整形外科
たけち るみ
武智 瑠美

今年度より赴任させていただきます。群馬で生まれ育ち群馬大学卒業後もずっと群馬に勤めておりましたが沼田市での勤務は初めてです。利根沼田地域の医療に貢献できるよう尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。



整形外科
ふじた ひろあき
藤田 浩明

2015年～2016年に赴任して以来2度目の利根中央病院での勤務になります。一般外傷はもちろんのこと、専門である人工股関節手術を通じて皆様のお役に立てるように頑張ります。



整形外科
おおだま こうじ
大玉 浩嗣

今年度より勤務させていただきます、医師4年目の大玉と申します。東京都出身、群馬大卒、初期研修は群馬県済生会前橋病院でした。至らない点も多いかと思いますが、皆様のお役に立てるよう勉強していきますのでよろしくお願いいたします。



整形外科
あおき かずき
青木 和貴

群大卒、高崎総合医療センターで研修を終えました、青木和貴です。皆様のお力になれるよう日々尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。



小児科
しながわ みのる
品川 穰

5年ぶりに利根中央病院で勤務させていただくことになりました。沼田市出身の私にとって、地元地域医療に貢献できることを大変嬉しく思っております。利根沼田地域の子ども達やご家族の皆様へ寄り添いながら、お役に立てよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科
えがわ ゆうま
江澤 佑真

前橋市出身で群馬大学を卒業し、今年度より利根中央病院に赴任しました。安心して医療を受けられるよう、お子さま一人一人に寄り添った温かい診療を心がけてまいります。地域の皆さまの健康を支えるお手伝いできれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



産婦人科
こさか たかし
小阪 俊

産婦人科専門医1年目の小阪です。半年間と短い間ですが、よろしくお願ひします。



病理診断科
おがわ あきら
小川 晃

令和7年4月1日付けで高崎総合医療センターから赴任しました。病理診断科の小川晃と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修報告会

3月15日（土）、2024年度群馬民医連臨床研修報告会が開催されました。初期研修医および専攻医が1年間の研修で得た学びの報告を、指導医やコメディカルと共有することを目的として毎年開催しております。

「私を成長させてくれた事例」をテーマに全体で21演題の発表があり、臨床現場での経験だけでなく、地域生活体験研修や学校保健講話の体験で学んだことなどについても報告されました。

報告会の終了後には、研修修了者へ記念品贈呈のセレモニーと、研修医やコメディカルによる投票で選ばれた指導医を表彰する「グッドティーチャー賞」の授与も行われました。



研修医の紹介とごあいさつ

新年度を迎え、当院に新たに初期研修医5名が加わりました。若いやる気に満ちた、研修医をはじめとした新人が加わることで院内が活性化される感があります。

初期研修医には、研修期間中にまず医師としてのしっかりとした基礎をつくって、地域の医療にも貢献してくれることを期待しています。視野を広くもち、それぞれの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

「鉄は熱いうちに打て」という格言がありますが、まさに臨床研修にも当てはまる言葉だと思います。医学は日々進歩していきますので、アップデートしていかないと遅れをとることになりますが、身につけた医療に対する姿勢というのは変わらないものだろうと思います。よりよい臨床研修ができますように今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い致します。



研修プログラム
責任者・副院長
吉見 誠至
よしみ せいし



初期研修医
つるぶち ゆうすけ
鶴淵 悠介

初期研修医1年目として入職いたします。鶴淵悠介と申します。出身は沼田市で、群馬大学を卒業いたしました。生まれ育った地で働けることを光栄に思います。至らぬ点も多いとは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



初期研修医
やすだ かずと
保田 和人

今年度より研修医としてお世話になります。保田和人と申します。群馬大学出身で、慣れ親しんだ利根沼田地域で研修をさせて頂けることを心より嬉しく思います。地域医療に貢献できるよう、日々精進いたします。よろしくお願いいたします。



初期研修医
はらくち やすのり
原口 泰典

今年度より研修医としてお世話になります。太田市で生まれ育ち、高校・大学を前橋で過ごしました。利根沼田の医療に貢献できるよう日々努めてまいります。精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



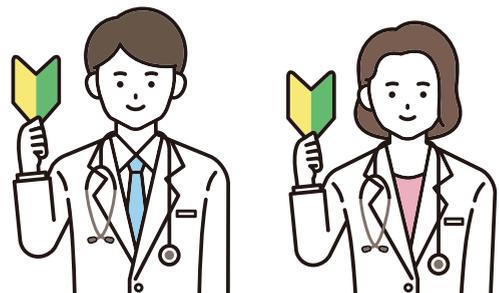
初期研修医
よしの るい
吉野 瑠

4月より研修医として勤務いたします。吉野瑠と申します。生まれ育った地で医師としての第一歩を踏み出せることを嬉しく思います。体力を武器に患者さんやスタッフの皆様に貢献できるよう全力を尽くします。よろしくお願いいたします。



初期研修医
もてぎ あいり
茂木 愛里

今年度より研修医として勤務いたします。玉村町出身で、群馬大学を卒業しました。学生時代からお世話になった当院で研修できることを大変嬉しく思います。地域の皆様に貢献できるよう、精進してまいります。ご指導よろしくお願いいたします。



栄養管理室の紹介

栄養管理室は、管理栄養士10名・栄養士5名・調理師6名・調理員5名・事務員1名が在籍し、1日800食の入院患者と職員の食事づくりを行っています。食事はセントラルキッチンぬまたから冷蔵庫で配送され、病院で再加熱・盛り付け・配膳するクックチルシステムです。セントラルキッチンと連携を取り、より良い給食提供に向けて取り組んでいます。

また、病院・老人福祉施設・セントラルキッチンのメンバーで構成された「嚥下調整食改善チーム」があり、嚥下調整食の品質向上を目的に活動しています。

職員食は、A定食・B定食・麺類から選択でき、サービスカレーも用意しています。月1回の感謝デーではアイスやお菓子などを提供し、職員から好評です。

入院患者の栄養管理は、GLIM基準を用いて栄養状態を定期的に評価しています。管理栄養士が入院から10日ごとに患者訪問し、体重と下腿周囲長の測定を行っています。

毎朝HCUカンファレンスに、NST専任管理栄養士とHCU担当管理栄養士が参加し、栄養管理について情報共有し、早期栄養介入管理を実施しています。

入院栄養指導は退院後の療養生活に繋げるためのアドバイスを心掛けています。外来栄養指導は、医師の診察日に併せて継続して実施しており、管理栄養士との会話を楽しみに来院する方も多くいます。日本糖尿病療養指導士の資格を持つ管理栄養士が7



栄養指導

栄養管理室 室長 林 和代

はやし

かずよ



嚥下調整食改善会議（ムース食の試食）

名在籍し、増加傾向にある糖尿病患者のセルフケアの支援に努めています。

管理栄養士は、NST・褥瘡・摂食嚥下・認知症・糖尿病・心臓リハビリのチーム医療の一員として活動しており、多職種と連携して患者様の栄養面でのサポートを行っています。

また市町村の介護予防事業の栄養部門を担当しており、健康に役立つ情報提供をしています。

行事食おせち



下腿周囲長測定

SDH事例報告

医療活動委員会 事務局 臨床工学室 主任 福田 浩嗣



当院では、医療活動の一環として全職員対象「全体集会」を毎月おこなっています。近年、医療現場では、単に病状の治療だけでなく、患者様の生活環境、経済状況、教育背景、住環境など、医療外のさまざまな要因が健康に深く関わっていることが認識されつつあります。そこで、2月の全体集会では患者様の健康に大きな影響を及ぼす社会的要因（SDH：Social Determinants of Health）に着目し、「SDH事例報告」をおこないました。

本全体集会では、医師・看護師・ソーシャルワーカーなど多様な専門職が集いました。実際の事例をもとに、どのような社会的な背景があり、健康に影響を与えたか、そしてどのような連携でその課題に取り組んできたかを3職種（看護師・理学療法士・ソーシャルワーカー）の方から報告していただきました。安心して暮らせる住まいや、経済的支援の有



無、地域コミュニティとの連携の重要性、現場での実践や工夫についてなど具体例も交えて解説していただきました。参加された職員においては、日常の診療やケアに役立つ情報や多面的なニーズに応えるためのヒントを実践的な形で学ぶことができた良い機会となりました。

医療従事者にとって、SDHの理解とその実践的対応は、今後の医療提供体制の質をさらに向上させる重要なテーマとなります。これからもより良い医療・福祉連携の実現に向けた知識・経験など、全体集会を通して共有していきたいと思えます。



いつも、病院だより「きらめき」をお読みいただきありがとうございます。当院ホームページにバックナンバーも掲載していますので併せてご覧下さい。

利根中央病院 病院だより

検索

